

人気クラシックデュオ「スギテツ」のピアニストで、名古屋出身の音楽家杉浦哲郎さんが「パンキング隊」のために、クラシック“ショパン”の名曲をポップにアレンジしてくれました! 名付けて「ノクターンの、そのあとで」。

「“親子で一緒に新聞を読む文化”を絶やさず、こども達が愛情と教育に包まれて育つ優しい社会に」を目標に掲げ、歌とダンス、トークのステージを披露しているパンキング隊。今回、こどもでも親しめる楽しいクラシック音楽のアーティスト「スギテツ」として全国各地でコンサート活動を行う音楽家の杉浦哲郎さんが、『「こどもへの愛と教育」がテーマの活動の手助けになれば』と、新曲「ノクターンの、そのあとで」を、曲の選定からプロデュースしてくれました。

スギテツ



「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに、誰もが知っているクラシックの名曲をさまざまな音楽や環境音とマッシュアップ(融合)させ、聴くだけでなく観て楽しいコンサート活動をするピアノとヴァイオリンのデュオ。「題名のない音楽会」「らららクラシック」等の音楽番組にも度々出演し、東京フィルハーモニー交響楽団・名古屋フィルハーモニー交響楽団などとも共演。近年ではNHK Eテレの教育番組「おんがくブラボー」レギュラー、「NHK全国学校音楽コンクール(Nコン)」ゲストなど、次世代に音楽の楽しさを伝える役割も担い始め、小・中・高等学校の芸術鑑賞会やワークショップなどの実績も数多い。

杉浦哲郎
名古屋市出身。4歳よりピアノを始める。法政大学社会学部在学中より音楽業界に関わり、音楽クリエイターとしてさまざまなジャンルで活動。これまでに100本以上のCM音楽を手掛ける他「劇団 ワハハ本舗」などの舞台音楽制作、「セントレア空港音楽祭」などのイベント監修、音楽誌「ムジカノーヴァ」などへの執筆、ラジオパーソナリティなど、活動は多岐に渡る。

パンキング隊



中日新聞のゆるキャラ「パンキング」とおねえさんたちで結成された超異色ユニット。

「“親子で一緒に新聞を読む文化”を絶やさず、こどもたちが愛情と教育に包まれて育つ社会に」を目標に掲げ、NIE(教育に新聞を取り入れる活動)の普及や、地域におけるライブステージ・ファミリー向けイベントなど、東海地区に限定されず徐々に知名度を高めながらいろんなところで活動中。

CDはこれまで「PANKINGOOD!!」「カレーが食べたい」の2枚をリリース。商業施設などのイベントでこども達を対象に無料プレゼントしている。流通はインターネット、手売り等。

「ノクターンの、そのあとで」

CD発売日 8月12日～(予定)

杉浦哲郎氏が、作曲家ショパンの代表作「ノクターン第2番 変ホ長調」を、パンキング隊のイメージに合わせて爽やかでアップテンポな曲にアレンジ。しっとりとした夜がテーマの原曲から、朝をテーマにした一日の始まりにぴったりのポップな曲へと変貌させて、誰もが知りながらも誰もが初めて聴くユニークな楽曲が誕生しました。

演奏でも自身のユニット「スギテツ」としてパートナー岡田鉄平氏と共に参加し、素晴らしい音色を響かせています。

カップリング曲

- ・しんぶんのぶんしん
- ・おとなとこどものエトセトラ
- 他、各曲カラオケ

(全6曲)

¥1,000(税込)

作曲：フレデリック・ショパン
作詞：パンキング隊
ピアノ・編曲：杉浦哲郎(スギテツ)
ヴァイオリン：岡田鉄平(スギテツ)
ギター：真鍋貴之